

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

あ い  
アブラハムの愛をた  
か み  
めされた神さま



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: M. Maillot; Tammy S.

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick

しゅつばんしゃ  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2010 Bible for Children, Inc.

きよか      たにん      う      かぎ      はなし  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、  
また      きよか  
又はプリントは、許可されています。





よる  
ある夜の事です。  
かみ  
神さまは、アブラハ  
へん  
ムにとっても変なめい  
れいをされましたよ。





それはね、アブラハ

かみ

ムが、神さまよりもっ

かれ

ほう

と彼のむすこイサクの方

あい

を愛しているのかどうかを、

ためすことでした。



「あなたのむすこ、イサクをつれて行きなさい。

そしてイサクを焼<sup>や</sup>いて、  
いけにえとしてささ

げなさい。」神<sup>かみ</sup>さまは、  
このようにめいれい  
されたのです。えっ？



イサクをささげるって？かれのむすこを、いけにえにするって？それは、アブラハムにとって、

ほんとう

本当につらいことでした。アブラハムは、

じぶん

自分のむすこイサクを  
あい  
こころから愛していた  
からです。



けれども、アブラハムは、

かみ

い

神さまの言われることが、  
たとえよくわからなか

かみ しん

ったとしても、ただ神を信じるこ

とをよくしっ

ていました。



あさ

朝のうちに、いけにえの

ふたり わかもの

イサクをつれ、二人の若者

やま で

といっしょに、山へ出かけてい

きました。





で まえ や  
出かける前、アブラハムは、焼いていけにえをささげ

ひ  
るための火をおこすたき

ようい  
ぎを、用意しました。

かみ  
アブラハムは、ただ神さまにしたがうしか

おも  
ないと思いました。



みっか

やま ちか

三日たって、さあ、山に近づいてきましたよ。「ここにいなさい。」アブラハムは、

わかもの

い

若者たちに言いました。

「わたしたちは、

い

むこうへ行って

れいはい

礼拝します。



ここにまたもどってき  
ますからね。」イサクは、  
たきぎをはこびました。  
アブラハムは、

ひ かたな  
火と刀をも  
ちました。



とう や  
「ねえ、お父さん、焼いていけにえ  
ひつじ  
にする羊は、いったいどこに  
いるの？」イサクはききました。



かみ

ひっじ

「神さまが、ちゃんとじぶんで羊  
をよういしてくださっているん  
だよ。」アブラハムがこた  
えました。



ふたり かみ

二人は、神さまがちょうどえらばれたところへ、やってきました。そこで、

アブラハムは祭<sup>さい</sup>だんをきずき、  
神さまの<sup>かみ</sup>前<sup>まえ</sup>にささげるいけにえ  
<sup>も</sup>を燃<sup>も</sup>やす

ためのたきぎをくみたてました。



アブラハムは、いままでたくさんの祭だんさいをきずいてきました。でもきつと、

この祭だんさいづくりほど、  
くる  
苦しいものものはなかった  
でしょう。



アブラハムは、かわいいかわいいむすこイサクをしば  
りあげ、<sup>さい</sup>祭壇の上においたのです。アブラハム  
は、ほんとうに<sup>かみ</sup>神さまの<sup>い</sup>言われる  
とおりに、<sup>こころ</sup>心から<sup>あい</sup>愛するたった  
<sup>ひとり</sup>一人のむすこを、

いけにえにする  
つもりだったの  
でしょうか？







そうです。  
アブラハムが、  
たか  
ナイフを高くふりあげ  
は  
たとき、ナイフの刃が、  
ひか  
キラキラ光っていました。  
しん  
アブラハムの心ぞうは、  
かな  
悲しみでいまにもはり  
さけそうでした。





しかし、  
アブラハムは、  
かみ  
神さまにしたがわ  
なければならぬと、  
はっきりわかっていました。





「やめなさい。  
しゅ  
い。！」主のつか  
いがさげびました。  
「アブラハムよ、  
いま、あなたが  
しゅ  
主をおそれて  
いることが、  
はっきりわ  
かった。





あなたは、  
じぶん  
自分のむすこ、  
ひとり  
たった一人のかわ  
いむすこさえ、  
わたしのため  
におしまな  
かった。」



き ほう  
ふと、木のしげみの方を見ると、  
いっ ひっじ  
一ぴきの羊がいるではありませんか。アブラハムは、  
イサクのなわをほどき、...



ひっじ

...かわりに羊をいけにえに  
しましたよ。たぶん、  
おも  
イサクは**思**ったでしょう。



かみ

「神さまは、ちゃんとなにもかも

ようい

用意していてくださるのだ。

とう

ちょうど、ぼくのお父さん

はな

が話してくれたように  
ね」。

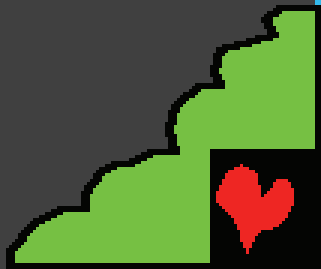


ちち こ れいはい しゅ  
父アブラハムと子イサクが礼拝しているとき、主のみ

はなし  
つかいがアブラハムに話かけられました。

かみ  
「アブラハム、あなたが神にしたがっ

こ  
たので、あなたの子どもたち、...





くに しゆくふく  
...すべての国は、祝 福されるであろう。」

ひ  
いつの日にか、アブラハムの  
しそんから、イエスさまが、  
う  
お生まれになることで  
しょう。



げんき いえ

こうして、アブラハムとイサクは、**元気**に**家**にもどっ

なんねん

かな

てきましたよ。それから**何年**かたって、とても**悲**

しいことがおこりました。



な  
サラが亡くなってしまったのです。アブラハムは  
つまを、そしてイサクはお<sup>かあ</sup>母<sup>な</sup>さんを亡くして  
しまいました。



サラのおそうしきのあ  
と、アブラハムは、しも

ちょう

べの長にイサクのおよめさんになる

ひと

人を、さがしに行かせ

い

ました。



そのしもべは、アブラ  
なか  
ハムのしんせきの中から、  
イサクのおよめさんをさが

う  
そうと、アブラハムの生まれたとこ  
ろへでかけました。



かみ

しもべは、「神さま、

み

どうぞしるしを見せてください。」

い

といのり、またこう言いました。



みず

おんな

「わたしのつれてきているラクダにも水をくださる女の人  
ひと  
人が、イサクのちょうどぴったりのおよめさんになりますように。」



すると、どうでしょう。しもべが、

いの

こう祈りおわらないうちに、リベカがやってきて、

みず

はじ

ラクダたちに水をくんでやり始めたではありませんか。





ひとり

リベカは、アブラハムのしんせきの一人でした。

かみ 神さまは、いのしもべの祈りをきいてくださり、  
こたえてくださったのですね。



とう  
リベカは、イサクとけっこんするため、お父さ  
かあ  
んやお母さんのもとを、はなれました。



そしてかのじよは、イサクのお<sup>かあ</sup>母<sup>な</sup>さんが亡くなったあと、イサクをやさしくなぐさめてあげました。  
イサクは、

リベカ  
だいす  
が大好き  
でしたよ。



あい かみ  
アブラハムの愛をためされた神さま

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 22 章 -24 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまに  
かみ かみ  
ついて、おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことを  
おも  
しってほしいと、思っています。

かみ わたし  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しってい  
かみ つみ つみ  
らっしゃいます。それを、神さまは、罪とよばれています。その罪の  
し かみ あい  
むくい、死です。けれども、神さまは、あなたをととても愛してい  
ひとり こ よ おく  
らっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、この世に送って  
つみ じゅうじかじょう な  
くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられ  
てんごく  
たのです。けれどもそれから、イエスさまはよみがえられ、天国のい  
しん  
えへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさまを信じ、ゆる  
してくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてください  
いま ところ き なか  
ます！イエスさまは、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に  
す い  
住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさまといっしょに生  
きるができますよ。



もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言っ  
てください。

愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人とな  
り、私たちの罪のために亡くなってくださいました。そして、よみ  
がえって、いま生きて

いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるして  
ください。それで、私は今、あたらしい命をいただけます。そし  
て、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子とし  
て生きることができますよう、たすけてください。アーメン

まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによ

る福音書 3 : 16

